

# Rotary Club of AMA weekly report.



2022～2023年度  
国際ロータリーテーマ  
**IMAGINE  
ROTARY**  
イマジンロータリー



2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ  
第2760地区ガバナー 籠橋 美久  
会長 臼井 幹裕 副会長 後藤 裕一  
幹事 大西 晃弘  
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル  
【公共イメージ向上委員会】  
委員長 神戸 剛 副委員長 中澤 浩一  
委員 船原 久尚・後藤義美・稲垣 秀樹・黒野晃太郎・渡辺 均

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

## 2022年 11月14日（晴れ） 第2週 第2406回例会

**Song** ” 日も風も星も ”

**Guest** 米山奨学生 朱 天斉さん

**Attendance**

|    |     |    |     |     |        |
|----|-----|----|-----|-----|--------|
| 会員 | 67名 | 欠席 | 13名 | 出席率 | 75.47% |
|----|-----|----|-----|-----|--------|

**President Time**

臼井幹裕 会長



皆さん、こんにちは。昨日の常滑での地区大会に参加の皆様、ご苦労様でした。ご報告は、後ほどさせていただきます。また、5日（土）には、秋の家族会がお天気に恵まれて無事に終わりました。私自身も楽しみましたし、参加の皆さまも楽しんでいただけたものと思います。企画・準備から当日のアテンドまで心砕いて対応いただいた親睦活動委員会の皆さまには深く感謝申し上げます。

地区大会に参加して、改めて我があまロータリークラブの活動を考える機会になりました。思いますに、親睦活動委員会以外の各委員会も「ロータリー活動に積極的に参加しようーJoin us and participate!ー」という合言葉のもと活発に活動していることを皆様にご報告します。国際奉仕委員会では水ろ過装置の設置事業の実施に向けて覚書

を取り交わすところまで来ています。職業奉仕委員会は、「私の職業奉仕」という冊子を作成すべく会員の皆さまに原稿を依頼する準備をしています。社会奉仕委員会も、10月に卓話いただいたセカンドハーベスト名古屋への活動協力を準備しています。会員増強委員会も活発で、新しく仲間になりたいという2名の入会申込書を受け取っています。そして、ここで次年度につながる大事なご報告をします。クラブ細則及び内規に従い、家田直前会長、中島直前幹事、大西幹事、加藤春視会長エレクト及び現会長臼井の5名で、先般次々期会長候補者として後藤裕一君を指名いたしました。本例会にて後藤裕一君を次々期第56代会長候補者とするにつぎ、会員の承認をお願いしたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。（拍手）有難うございます。以上を踏まえ私は、会長、幹事、次期会長、次期幹事及び次々期会長の5名を次期理事役員候補者指名委員とし、追って指名委員会を開催します。指名委員長は12月5日の例会において次期理事役員候補者を発表し、会員の承認を求める予定です。

|                  |                                                            |
|------------------|------------------------------------------------------------|
| <b>Today</b>     | 11月28日（第2407回）                                             |
| 担当               | 栗木和夫 ロータリー財団委員長                                            |
| 演題               | 卓話<br>地区補助金委員会<br>副委員長 江川康彦君（名古屋清須RC）                      |
| <b>Next Week</b> | 12月 5日（第2408回）                                             |
| 担当               | 黒川元則 プログラム委員長                                              |
| 演題               | 卓話「移民の国アメリカの現在」<br>同志社大学大学院<br>グローバル・スタディーズ研究科教授<br>南川 文里氏 |

会長挨拶は以上とし、それでは、後藤裕一君から一言お気持ちを述べていただきます。

## Secretary Report

## 大西晃弘 幹事

- 1 ロータリーレートが11月1日より1ドル148円に変更となりました。
- 2 次週11月21日（月）は勤労感謝の日の振替による休会です。次回例会は11月28日（月）となります。



米山奨学生 朱 天斉さんに奨学金贈呈

## ニコボックス

### ご投函有り難うございます

臼井幹裕 会長

2022-23年度地区大会に参加の皆様、お疲れ様でした。ご報告をお願いした竹田君、松村君、よろしくお願ひします。

新聞記事で山田幹夫君が全国本みりん協議会会長にあることを知りました。お役目、お疲れ様です。

後藤裕一 副会長

地区大会出席の皆様、お疲れ様でした。

東海君、先日はお世話になり有難うございました。加藤文彦委員長、親睦活動委員会の皆様、秋の家族会お疲れ様でした。楽しい1日でした。

大西晃弘 幹事

昨日の地区大会ご参加の皆様、有難うございました。

酒井和雄君

高野山の墓参りに、孫2人と5人で行って来ました。10年くらい行っていなかったの、墓の周りがススキで一杯。どうしようかと迷っていたら、息子が鎌を買

って欲しいとのこと。鎌の力と5人の力で、墓清掃出来ました。墓前でのお経を上げてもらい、先祖・息子・孫・妻と、幸せな1日でした。

加藤春視君

地区大会にご参加の皆様、お疲れ様でした。

神野恭寿君

昨日はお疲れ様でした。間もなく59歳です。今後ともよろしくお願いいたします。

青本道春君

昨日、小牧の航空ショーを友人に招待され行って来ました。ものすごい爆音で飛び交うジェット機に圧倒されると同時に、自衛隊員は国を守っている事に感謝の心がわいてきました。

栗木和夫君

田中君、まるは食堂で地区大会反省会、ご馳走様。熱燗6本は多かった？

田中正博君

秋の家族会、大変楽しかったです。晴天に恵まれて伊吹山からの景色、きれいでした。

昨日の地区大会、谷川君の代わりに参加しました。勉強になりました。

北野庸夫君

親睦活動委員会の皆様、楽しいバス旅行有難うございました。家族会、楽しみです！

児玉憲之君

地区大会に出席の皆様、お疲れ様でした。

水野 眞君

74回目の名古屋邦楽大会を終えました。久しぶりのマスク無しの舞台でした。

水谷安紀君

ニコボックスお疲れさま。

小倉廣三君

地区大会お疲れ様でした。臼井会長、武田君、松村君、報告よろしくお願いいたします。

大竹敬一君

地区大会ご参加お疲れ様でした。（すみません。私は欠席でしたけど…）

武井 正君

秋の家族会に多数のご参加、有難うございました。

山本輝幸君

秋の家族会楽しかったです！グランドのおせちの早割は15日まで！是非この機会に！

横井久雄君

毎年紅葉の時期が遅くなっております。あま地方は12月に入ってからかな？（田中君の質問に対する回答）

合 計 41,000円

## 地 区 大 会 報 告

～友情を育み奉仕への情熱を高め

インスピレーションを得る場に～

会長 臼井幹裕君



国際ロータリー第2760地区の2022－23年度地区大会は、常滑ロータリークラブをホストとして、12日（土）は、名古屋観光ホテル、翌13日（日）は、愛知県国際展示場にて2日間にわたって開催されました。

12日は、会長と幹事、そして鈴村地区国際奉仕委員長の3名が参加しました。前年度の地区資金決算書案の承認等の議事のほかに、米山記念奨学委員会の活動報告会、青少年フォーラムが開催されています。13日は、理事役員のほか入会3年未満の会員の木戸真弓君と松村文登君、地区役員として鈴村君、児玉君、黒川君、特に勉強したいと希望した田中正博君も参加しています。大会2日目は大きくは2部構成で、オープニングアトラクションの後、第1部では辰野克彦RI会長代理の報告、内山田竹志トヨタ自動車取締役会長の記念講演、第2部では佐藤芳郎RI理事の挨拶等のほか、在籍50年表彰など各種表彰に移り、その後酒井法

丈（のりたけ）カバナーエレクト（豊田RC）、吉川公章（こうしょう）カバナーノミニ（名古屋南RC）からご挨拶がありました。そのすべてを紹介することは叶いませんが、印象に残りました点を2つお話しします。1つには、RI自体が変わってきているということです。私はこれを必ずしもマイナス評価として述べるものではありません。辰野RI会長代理は、職業奉仕を始めとするロータリーの奉仕の精神、その実践そのものが大切であるとする事自体は何ら変わりがないとしつつ、RIは、ロータリー会員の減少という事態を重く受け止め、組織の維持・発展を求めていく中で、DEI、即ち多様性（Diversity）、公平さ（Equality）、包摂性（Inclusion）を重点事項として取り組んでいることが説明されました。そして、多様性は、事実（fact）、公平さは選択（choice）、包摂性は行動（action）であると位置づけて説明されました。RIは、117年目にして初めて女性会長を迎えたことを契機に例えば、性別や人種は様々であるという事実を冷静に捉え、誰にもRCの門戸を広げるという選択を行い、より多くの会員の叡智を集めて行動することを求めているように思われました。

もう1つは、私自身、地区大会は、自らのクラブの会員だけでなく、他のクラブの方とも言葉を交わし、情報交換をする貴重な機会であると受け止めました。冒頭に掲げたのは、地区大会に寄せたジェニファーE. ジョーンズRI会長のメッセージのタイトルです（中経新聞より抜粋）。友愛の広場が復活し、お昼の軽食が提供されました。スタンドテーブルを分け合いながら、私は大須ロータリー、瀬戸ロータリーの方と何気ない会話をして来ました。まさに、「友情を育み奉仕への情熱を高めインスピレーションを得る場」であったと実感しています。パイプ椅子は結構つらいものがありますが、印象に残ります地区大会は、ホストクラブの地元に出かけて、その空気に触れるものであります。皆様も、機会がありましたら、是非ともご参加いただきますようお願いいたします。





## 2022ー2023年度国際ロータリー第2760地区

### 地区大会に出席して

松村文登君



2022年11月13日（日）会場：愛知県国際展示場にて開催の地区大会に出席させて頂きました。

まず、会場の大きさに圧倒させられました。会場の中に入場するとジョンレノンの曲がBGMとして流れており何故かな？と軽々思っていたのですが、国際ロータリー会長ジェニファーEジョーンズの今年度テーマ「イマジン ロータリー」である事を確認し、改めて曲名が「イマジン」であることに納得させられ細かい所まで行き届いた運営であることに感銘しました。

開会のオープニングは、奥条囃子からスタートしました。この事も人は太鼓の音を聞くと気持ちが上がって血が沸き立つと言われており、非常に興味をもって大会の開催にスムーズに入れたのではないかと思います。

この地区大会が総参加クラブ数が106クラブ、約2500名の参加にて非常に大会の大きさに圧倒されました。地区大会でこの規模なので全国となればすさまじい規模でありロータリーの偉大さを改めて認識させられました。

講演については、トヨタ自動車会長 内山田氏によるものでした。内容は、カーボンニュートラルについてで将来CO2ゼロに向けて取り組みを行っておりその中でも水素エネルギーの役割が非常に重要であり、他のエネルギーに比べてもCO2使用量が現状でも少なく自動車を動かすことが出来るとの話でした。現在MIRAI2が走ってるが、将来的にもっと日常的に活用できるようになればと感じた次第です。ちなみにMIRAI2の価格は総価格で800ー1000万です。もし興味のある方は、購入を検討されてみてはいかがでしょうか。

第一部は、以上で終了し第二部表彰式典にはいると会場の人員が1/3ぐらいに減少しました。少し寂しい感じがしました。役員の方が最後まで残られた方は、きっといいことがありますよとコメントされ少し癒されました。

最後に地区大会を開催するにあたり、ホストクラブの常滑ロータリーの方々、また来年のホストクラブの豊田東ロータリークラブの方々について、すごく御尽力頂いてる事を非常に感じた次第です。本当にご苦労様です。

この度、この様な大規模の地区大会に参加させて頂き大変勉強になりました感謝申し上げます。

竹田竜一郎君



愛知県国際展示場にて、地区大会の本会議が開催されました。オープニングアトラクションは、奥条囃子保存会のお囃子で始まり、コロナ禍にもかかわらず、大多数のロータリアンが出席し、盛大におこなわれました。

先ずは竜橋ガバナーのお話です。基本的にはDEI が大切だというお話でした。DEIとは、「ダイバーシティ（多様性）、エクイティ（公平性）、インクルージョン（包括性）」の意味です。特にロータリーでは、女性、若者の活躍をサポートしてください。そこにはシニアの方の知恵を借り、皆ですすめてください。更には海外の方にも入ってもらおうとか、DX化をしていく事もお勧めしますというお話から始まりました。良い例を挙げられ、稲沢RCでは、例会場で女性会員の幼児が遊ぶ場所を作っていて、事務局の方も一緒になって子供をあやしていたそうです。反対意見もあったが、理事会で決定し、実践してしているとのことでした。

各クラブの活動としては、近隣クラブとの共同プロジェクトを立ち上げ、インパクトのある奉仕活動をしてください。地域に役に立つクラブになってくださいとの事でした。

会員増強では、目標5,000名を掲げており、現在、4681名。今期は136名増員しています。現在、女性の割合は7.6%（2760地区は6%）。それを8%にしたい。世界では25%である。DEIはロータリーの基本だと再度強く訴えておりました。

先日、ロータリー財団セミナーを開き、補助金事業について、3年前の年次総額の25%の申請が可能と決めたとのことでした。

今後はアフターコロナを見据え、変化に対応できるクラブになってください。SNSを活用した例会の導入など、皆で知恵を絞って運営して欲しい。とにかくDEIだと強く何度も繰り返されておりました。

RI会長からの今年度のテーマは、イマジンロータリーです。それぞれの方々がリーダーシップを発揮して、行動し、大きな夢を持って実現していく事を想像してください。と仰られておりました。

トヨタ自動車株式会社 内山田会長の記念講演がありました。内容は、カーボンニュートラルについてのお話でした。カーボンニュートラルとは、ライフサイクル全体で発生するCO2を実質ゼロにする事です。全プロセスに於いて、CO2をゼロにすることであり、非常に難しい事だ。部品を作る時のエネルギーもゼロ、輸送する時もゼロ、車が走っている時もゼロでないとダメなのです。現状は、発電している電力自体がカーボンを使っていて、その電力で部品を作っているの、それを変えていかなければならない。大元の燃料が大切なのです。現在までにトヨタ自動車は2,000万台以上の電気自動車を世に出しており、それは1億6,000万トンの削減効果があります。この様にCO2削減に貢献もしているが、今の仕組みでは完全にゼロには出来ません。カーボンニュートラルには、水素が必要である。電気は貯めることが出来ないが、水素は貯蔵、輸送、利用が出来、窒素からはアンモニアを作れます。これは水素と同じように扱えます。CO2を回収してメタンを取り出し、メタノールとし、燃料として使える。CO2が排出されるが、これはまた回収されるようにする。他にバイオ燃料も有効であり、様々な燃料が開発されています。その中でも水素は水しか排出さないで空極のエネルギーと言われております。天候や気象条件に左右されないし、夏に作って冬に使う。南半球で作って北半球で使う。とかも出来る。そこにトヨタは100年後、200年後を見据えて挑戦すると言って

おりました。問題点として、今のところ水素は、作る、運ぶ、使うコストが非常に高く、更には水素に対する規制が厳しすぎ、安全に対するコストがかかります。例えば、供給するスタンドは設置に5〜6億円かかるとのこと。いち早く、技術実装し社会実装していかなければならず、水素の需要を増やしていくサイクルが必要だと言っておりました。燃料電池システムは、他のモビリティに利用出来るので、実際にバスだけでなく、船や、電車も出来ています。大電力を備えることができるので、災害時には電力供給も出来ます。更には、移動オフィスやキッチンカーも作っている。ホンダとコラボして発電給電システムにも挑戦している。一方で電気自動車は2030年までに30種類発売すると決めて新ブランドbz（ビヨンドゼロ）を立ち上げた。今後のトヨタ自動車は、これらの事を踏まえ、幸せを量産する会社としてやっていくとおっしゃられておりました。

## 大会1日目





## 大会2日目

